

ふれあい 長寿荘だより

発行：秩父市社会福祉事業団
秩父市立養護老人ホーム長寿荘
住所：秩父市蒔田 1977 番地
ほのぼのマイタウン内
TEL：0494-23-9335



11 月みかん狩りにて

～目次～

- | | | |
|-------|--------------------|-----------------|
| 1P | 表紙 目次 | 別紙 平成 24 年度事業報告 |
| 2P～4P | 行事特集 | |
| 5P | 施設長挨拶・平成 25 年度事業計画 | |
| 6P | けいじばん | |

行事特集

『11月観劇・温泉外出』



「観劇の見学」

「おいしいご飯と温泉入浴を楽しみました」

『秩父夜祭見学』



「神社で屋台の見物をしてきました」



『12月料理教室』



「丁寧にじゃがいもの皮むきをします」

「おいしそうにできました」



『12月年越しそば試食会』



「地域の民生委員の方々にご協力いただきました」



「年季の入ったそば打ちです」



『12月クリスマス』



「クリスマスリース作り」



「サンタからプレゼント」



「民踊慰問の方々」



『1月お正月』



「正月飾り製作」



「餅つき風景」



「色んな種類の餅を作る」



『2月秩父神社豆まき』



「鬼と一緒に記念撮影」



「赤鬼に握手してもらいました」



「長寿荘でも鬼が大暴れ」



『荘内作業慰労会』



「長寿荘内での作業に従事されている方を対象に
慰労会を行ないました」



「一年御苦勞さまでした」



『3月聖天山外出』



「国宝に指定されている
妻沼の聖天院」



「御利益があるかな♪」



「仲良く記念撮影」

施設長挨拶

秩父市社会福祉事業団総務課長
兼秩父市立養護老人ホーム長寿荘施設長
福島 千笑美

若葉が香るころとなりました。

職員も新たに新年度がスタートし早 2 か月目となり、入所者の方々の足も少しずつ外へ向かうようになってまいりました。

そこで改めて、当施設は、人と人との「和」と「個人の尊厳」を大切にし入所者が健康で生きがいを持ち、様々な社会的活動に参加できる施設でありたいと願っています。

お互いに助け合い、明るく楽しく、入所者と職員がともに喜びを分かち合える空間づくりを目指します。

そして、利用者の方々の豊かな人生のために一人一人の顔が見える介護の提供に努めたいと思います。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。

平成 25 年度 養護老人ホーム長寿荘事業計画

私たち職員は、入所者の皆様が明るく楽しい生活が送れるよう、以下の事業計画に基づいた支援に取り組んでまいります。

- 入所者一人ひとりをしっかり見つめ、その思いを共有することで、夢や願いがかない「喜び」、「幸せ」を感じることができ暮らしの場を入所者の皆様とともに創造します。
- ご家族や地域との繋がりを大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。また、施設機能を地域に還元することで、地域福祉の向上に寄与します。
- 専門機関、専門職としての誇りを持ち、広い視野のもと、改善改革に取り組み、謙虚に実践の向上に努めます。

《お知らせ》

平成 25 年 4 月 12 日に『ほのぼのルーム』の開所式を行いました。多目的ルームとして、ほのぼのマイタウン 2 F に開設しました。運動器具やリハビリ機器が設置してあり、今後はこの部屋をクラブ活動やリハビリ活動などに利用予定です。



けいじぼん

行事予定

5月	いちご狩り 外出ツアー	7月	外出ツアー 手作りおやつ	9月	ほのぼの祭り 敬老会
6月	料理教室 上映会 合同レク大会	8月	夕涼み会 上映会	10月	運動会 上映会 そば祭り外出

人事異動のお知らせ

転入



主任生活相談員 田代昌好



介護員 佐久間寿一



介助員 富澤淑子

(以上3名 特別養護老人ホーム偕楽苑より)

転出

- 主任生活相談員 柿沼 仁 (特別養護老人ホーム偕楽苑へ)
- 介助員 吉田素彦 (特別養護老人ホーム偕楽苑へ)
- 介助員 町田チヅル (蒔田デイサービスセンターへ)

編集後記 介護の世界に携わっていると、昔はつらい事が多かったけど、今は皆さんと一緒にいられて幸せだよと言っていたことが多々あります。従事者にとってはとてもありがたいお言葉ですが、その背景までに思いをはせる機会はそうあるものではありません。昔むかしとは何年前を思っているのでしょうか。戦争は、いつの時代にも起こっているけれど、私達は身近に感じた事などありません。それでも、そういった時代を乗り越えて、今が幸せと言ってくれる人のまなざしを受け取ると、ある言葉遊びを思い出します。『辛いという字は幸せという字に似ています。上に出たちょっぴりの点を十という字に変えると幸せになるんです。十分に辛くて、人は幸せになるんです』と。どれほどの『辛い』を経験すれば、幸せと思えるのでしょうか。私たちが年を取った時、幸せだよと話せる世の中が、変わらず訪れてくれる事を祈りながら、『辛い』でない事を望みながら、今日も笑顔を返しています。

編集部一同

ご不明な点やご意見・ご感想などございましたら、お気軽にお問い合わせください。次号は、平成 25 年 11 月ごろの発行を予定しています。(年 2 回)